

「GIGA」ハロゲンバルブ取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用ください。お読みになった後も、この取扱説明書はなくさないよう、大切に保管してください。
なお、誤った取付けや使用による事故、破損などの責任は一切負いかねます。

注意事項の定義

-  **危険** …人命に関わる重大事故につながる恐れのあるもの。
-  **警告** …人体に対し、危害が生じる恐れのあるもの。
-  **注意** …物品を破損、故障させる恐れのあるもの。

バルブ使用時のご注意



- このバルブは、12V自動車用バルブです。
他の用途や仕様の異なるヘッドライトには取付けも使用しないでください。故障やバルブ破裂の原因となります。
- 灯具の改造や変更をした車種には使用しないでください。
- お取付け出来ない車種があります。必ず当社ハロゲンバルブ車種別適合情報で確認の上使用してください。適合車種以外で使用すると事故やバルブ破損の原因となります。
- アイライナーニッシュ・レンズカバーなどライトレンズ面に装着するアクセサリーは、レンズ面の放熱を妨げ、ライトユニット、コネクター等の変形・溶解を引き起こす原因となりますので、それらを取付けて使用しないでください。
- バルブの改造、加工等は絶対に行わないでください。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。飲み込んだり、割ってケガの原因となることがあります。
- 後付けやオプションのフォグランプには使用しないでください。
- 点灯中、消灯直後は、洗車等で故意にヘッドライトのレンズ面に水をかけないように注意してください。急激な温度変化によりレンズ面に悪影響のある場合があります。

- 停車時は、アイドリング中でも必要以上にライトを連続点灯しないでください。バッテリー上がりの原因となります。
- エンジン始動時もしくは始動直後に点灯しないでください。始動直後に高電圧が発生しバルブ寿命を縮めることがあります。
- 点灯中にエアコンのON/OFFを頻繁に行わないでください。OFF直後に高電圧が発生しバルブ寿命を縮めることがあります。
- バルブ交換により車両の光軸がずれる場合がありますので、交換後に必ず光軸を適正位置に調整してください。
- 本製品は明るさを追求するため、標準装備バルブと比較して寿命が短くなります。

バルブ交換時のご注意



- バルブを交換する際は、バルブの口金形状を確認し、向きを確かめて確実に装着してください。誤った装着により、バルブが点灯中に外れると灯具等が溶解し、最悪の場合、車両火災になる恐れがあります。
バルブの交換方法は車種によって異なります。交換方法は自動車の取扱説明書をご覧ください。



- コネクターを取外す際は、まっすぐに引き抜きこじらない様ご注意ください。
- ロック付コネクターの場合ロックを押しながら引き抜いてください。
- 端子がゆるんだ状態で使用すると、発熱によりコネクターの溶解・焼損を引き起こす場合があります。必ず確認の上使用してください。
- 端子がゆるいと思われる場合は、ディーラーへご相談ください。
- バルブは落としたり、無理な力を加えたり、キズを付けたりしますとガラス球内部の圧力が高いためバルブが割れ、ガラス破片が飛散し、失明やケガの原因となることがありますので充分ご注意ください。
- バルブは、灯具の外では点灯させないでください。思わぬ事故、ヤケド、火災の恐れがあります。
- 点灯中のライトやバルブを間近で直視しないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となる恐れがあります。

(裏面もお読みください。)

バルブ交換時のご注意



注意

- バルブ交換作業は、平らな場所で、十分なスペースと安全を確保して行ってください。又、車両は、ギアをパーキング又はニュートラルにして、パーキングブレーキを掛け、エンジンを切り、ライトを消灯し、ショート防止のためバッテリーのマイナス側端子を外してから作業を行ってください。
- 点灯中、消灯直後の交換作業は行わないでください。また、ライト、バルブが高温になっている際は、熱が充分さめてから作業を行ってください。
- バルブのガラス部分には絶対に手で触れたり、油脂等の汚れを付着させないでください。万一手で触れたり、汚れが付着した場合は、薬用アルコール等できれいに拭き取ってください。汚れが付着したまま使用を続けるとバルブ切れの原因となる他、最悪の場合破裂の恐れがあります。
- 交換済みのバルブは、割らずに廃棄してください。バルブを割ると内圧が高いためガラス破片が飛散し、失明やケガの原因となることがあります。
- 廃棄の際は、危険物として各自治体の方法に従って処理してください。
- ガラスの表面その他に塗料などを塗らないでください。バルブが過熱し、破損する恐れがあります。
- バルブ交換のためにライトユニットを分解する時は、コードを強く引っ張らないでください。接続部が損傷すると過熱してヒューズ切れや火災の原因となります。
- ライトユニット組立時、カバー、コネクターは元通り付けてください。取付が不十分な場合、レンズのくもり・故障の原因になります。
- バルブ端子全体が車両側コネクターに接続されるように差込んでください。端子の半差しは接触不良やコネクター溶け等破損の原因となります。
- バルブ交換後、必ず点灯確認を行ってください。

HB4/HB3共通バルブを購入され、HB3バルブとしてご使用になる場合

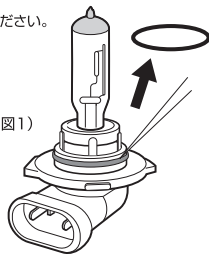
最初についている灰色または黒の○リングは「HB4」用です。「HB3」としてご使用になる場合は、以下の手順に従い付属の赤色○リングに交換してください。

- ①図1のように、先端の細い物で装着されている灰色または黒の○リングを取外してください。(図1)
- ②赤色○リングを同じ溝に取付けてください。



注意

交換の際、バルブのガラス部分には、絶対に手を触れないでください。(図1)



株式会社 **カーメイト** 〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11
<http://www.carmate.co.jp/>

★商品のお問い合わせは… **カーメイトサービスセンター**

TEL 03-5926-1212(代表) FAX 03-5926-1218

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の誤った取扱での事故について、当社はその責任を一切負いません。

ご愛用者登録をしてアンケートに答えると抽選でプレゼントが当たる!

(表面もお読みください。)